

確率の求め方

起こり得ることが同様に確からしいときに、起こり得ることが全部で n 通りあり、そのうちに a 通りのことが起こる確率 p は次のようになる。

$$p = \frac{a}{n}$$

確率の値の範囲

あることがらが起こる確率 p は次の範囲にある。

$$0 \leq p \leq 1$$

1 1個のさいころを投げるとき、次の確率を求めなさい。

- ① 2の目が出る確率

- ② 3か5の目が出る確率

- ③ 偶数の目が出る確率

- ④ 5以下の目が出る確率

確率の求め方

起こり得ることが同様に確からしいときに、起こり得ることが全部で n 通りあり、そのうちに a 通りのことが起こる確率 p は次のようになる。

$$p = \frac{a}{n}$$

確率の値の範囲

あることがら起こる確率 p は次の範囲にある。

$$0 \leq p \leq 1$$

1 1個のさいころを投げるとき、次の確率を求めなさい。

① 2の目が出る確率

$\frac{1}{6}$ さいころの目の出方は全部で6通り。
2の目が出るのは1通りなので、求める確率は $\frac{1}{6}$ となる。

② 3か5の目が出る確率

$\frac{1}{3}$ さいころの目の出方は全部で6通り。
3か5の目が出るのは2通りなので、求める確率は $\frac{2}{6} = \frac{1}{3}$ となる。

③ 偶数の目が出る確率

$\frac{1}{2}$ さいころの目の出方は全部で6通り。
偶数の目が出るのは3通りなので、求める確率は $\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$ となる。

④ 5以下の目が出る確率

$\frac{5}{6}$ さいころの目の出方は全部で6通り。
5以下の目が出るのは5通りなので、求める確率は $\frac{5}{6}$ となる。